

平成28年度第3回名張市快適環境審議会会議録（概要）

1.開催日時 平成28年11月17日（木） 午後2時から午後4時半

2.開催場所 名張市役所2階庁議室

3.出席者

委員 朴 恵淑

加藤 進

清水 敏代

辻森 保藏

福田 尚子

福廣 勝介

山本 佳也

事務局 地域環境部長 田中 明子

環境対策室長 猪田 徹

環境対策室 足立 和美

環境対策室 藤井 奈保子

4.欠席者

委員 田畑 博

椿原 礼子

5.内容

（1）あいさつ

（2）（仮称）第三次なばり快適環境プランについて

①修正案の説明

②修正案についての審議

③答申についての審議

（3）その他

平成28年度第3回名張市快適環境審議会会議録（概要）

（1）あいさつ

○会長

改めまして皆様こんにちは。ただいまの田中部長からの本当にねぎらいの話いただいて、ちょっとまだ早いけれども、本当に委員の皆様のおかげでここまで進めることができ、本日は本当に素敵なお顔が見えてよかったです。環境にとっては憲法のようなものが基本計画なので誇れるものが出来つつあるなと思っています。本当にほんの僅かかもしれませんが、今日この時間を有効に活用してより良いものに仕上げていきましょう。ほぼ最後に近いような仕事が残ったかなというのを思っております。それでは、気を緩めず2時間くらいかかるかもしれませんが、どうかよろしく願いいたします。事項書に基づきまして進めさせていただきます。

（2）（仮称）第三次なばり快適環境プランの審議について

①修正案の説明

○会長

最初修正案の説明ですが、本当に事務局も手作りでやっていくことなので大変だったのだと思いますけれども、やっぱり写真とかでいろいろ細かく注文を付けたりしておりましたが、本当によくやってくださったなと思います。先ずは説明をいただいて、その時にもし前後しても構いませんので、パブリックコメントの意見など、そういったようなものも必要であれば織り込みながら素案の説明をしていただければありがたいと思います。なお、パブリックコメントはやはり別に説明するということであれば1、2、3、4のまた括弧つきのところの順番でいきます。一番やりやすい形で事務局よろしく願いいたします。

○事務局

それでは事務局のほうから説明させていただきます。

本日ご欠席の委員から電話で素案の13ページの文言の修正ということでお伺いしています。①学校での環境教育の推進の中の真ん中のあたりの具体的な施策項目の中ほどの「ESDの視点を取り入れた」というところをESD教育とESDのあとに教育と付け足してくださいというご意見をいただきました。

○会長

ESDというのはEがすでに教育なのですが、ESD教育というのでしょうか。学校現場では、そう言うかもしれませんが、それは確認が必要です。ESDのEはEducationであり、持続可能な開発のための教育（ESD）という形でよく言われるので、それは事務局でもう一度確認をお願いします。

○事務局

はい、そうさせていただきます。

それとその下の項目で、行政の役割の中ほどの「各小中学校において」と書いてあるのですが、小中を消して、「各学校において」ということを指摘しておりますので修正をお願いいたします。

次に、出席の委員の方からも事前にご意見を伺っておりまして、この間審議会で決めさせていただいたキャッチコピーの順番を変えればより良いものになるのではないかとご意見がございました。今は「人に気くばり 地域に目くばり 地球に心くばり 里まちなばり」となっておりますけれども、委員の方のご意見は地球に心くばりを先に持つてくるというご提案をいただきました。イメージがおわかりいただけるようにホワイトボードで順番を入れ替えて、ご検討いただけますでしょうか。

○会長

それでは、各論の説明をしていただいた上で、検討していきましょう。

○事務局

では、中身の修正の説明を簡単にさせていただきます。前回審議会より、大きく変わっているところはあまりありません。主に誤字脱字の修正を行いました。

誤字脱字以外で直さしていただいたのが先ず11ページです。こちら事務局案として修正いたしました。目標項目に「環境活動に必要な物品の貸し出し」と記載していたのですが、この施策項目に目標項目がこれ以外にあること、内容がそぐわないということで削除いたしました。

次に12ページのところの目標項目ですが、市としてM-EMSをPRさせていただきますが、実績として事業所数を増やすというのは、市として主体的にできることではないため、市として主体的にできる項目を追加しました。

13ページにつきましては、前回の審議会を基に修正いたしました。

15ページについては、部署変更をいたしました。

16ページにつきまして、タイトルが「家庭での環境教育」と書かれていることに対し、美化活動という文言がそぐわないとして、「環境行事等」に変更いたしました。

17ページにつきまして、目標項目に市から学校・地域等への環境学習会の講師として出向く回数と記載があるのに対し、行政の役割に記載がなされていなかったので、行政の役割のところに追加しました。

19ページについて、「比較的」から「環境基準値内」へ文言を修正しました。

34ページについて、クリーン大作戦の参加数との記載が、他の施策項目とかぶっていたため、目標項目を市民意識調査のアンケート結果を項目として変更いたしました。

46ページについて、指摘シールの貼付枚数では、不適正排出物を減少させる目的が伝わりにくいいため、不適正排出物へ変更しました。

51ページについて、市の取組みとしてエコ通勤を行っており、数値目標として設定が容易である、またエコ通勤のPRとして、目標項目に追加しました。

52ページについて、前回指摘通り修正しました。

4ページについて、犠牲にした部分があるという記載につきまして、庁議にて、市のプランの文言としてそぐわないと指摘がありましたので、文言を変更いたしました。

○会長

では、また説明はそれでまず一通り終わりましたでしょうか。まだすこし残っていますか。

○事務局

文言の修正等、今までお示しをさせていただいていますプランの素案にかかる新たな修正ということでは今、説明させていただいたのが以上でございます。

○会長

はい、ありがとうございます。

②修正案についての審議

○事務局

若干、目標数値の設定につきましては、答申後に修正するという方法もありましたが、本日審議会の委員の皆さまに見ていただくのが、やはりいいのではないだろうかと考え、ご提案をさせていただきました。理解いただければと思います。

○会長

ありがとうございます。それでは、私たちにとって、非常に大きなキャッチになる 6 ページの部分が、今、ホワイトボードに言葉が並んでいます。順番も先ず、ここでのとっても良い、一番じっくりくるこの並び替え、それに関してちょっと今ああいったような提案が出てきているのですけれども、まずそこをちょっと皆さんと一緒にちょっと考えましょうか。提案者さん何かちょっと意見がございますか。

○委員

僕の提案なのですが、今日の会の位置付けがあんまりようわかってなかったの、言い残しがあってはいかん思って今日お配りした資料に全部書いてきました。前回の提案者さんのすごい、うまい並べ方でええなと思うのですが、順序が環境の主人公は人間やしたら先ずは「人に気くばり」っていうのは自分自身もですけど、他人も含めて人に気くばり、これはまあ問題なくええと思うのですが、次に最終の目標は我々暮らしている名張の環境ということになると人に気くばりしといて地球環境の問題も気くばりもして、その次に地域になって「里まち なばり」となる方が地域里まちなばりも並びから言うたらいいのではないかというのが僕のこのペーパーの裏の方に書かしてもらっていますが、というぐらいで地域はここに持ってきた方がいいと、地域里まちなばりと、こう並べてはどうかという提案です。

○委員

ええ、私はですね。当初の案、先ず、個人母体、で、地域環境当然行政のもあるのですが、やはり地域のいろんな活動の中で守る。要するに人を、要するにだんだん大きなのですね。人があって地域があってで、地球、極端で地球という形になるのですけど、そういう順番。それで、里まちというのは、イコール名張のことを言っているのですよね。だから最後にそういうことをする名張ということで、私は順序としては、「人」それはまず最初です。単位は各自治会地域で、それが力を合わせて国、世界、地球という形の方で順番としてはこれの方がいいのではないかと、一気に地球が来るよりは、そう感じました。

○会長

ありがとうございました。では、いろんな意見はちょっと出し合いましょう。

○委員

私これ犬の散歩しながら思いついたのですが、名張としては、気くばり目くばり心くばりっていうものを思いついてから、いろいろ検索したらですね、順番的にはこの「人に地域に地球に」を除くと気くばり目くばり心くばりで割とヒットしてくるので、その 3 点の流れというのはありました。私としてはちょっとでも何というか住民の皆さんの印象に残るキャッチコピーを考えただけなので、もうどちらでも思い入れは十分これに入っているの、順番についてこだわりはありません。

○委員

最初の原案は人がはじめですか。

○委員

はい、人です。気くばり、目くばり、心くばりっていう 3 点セットに割り振りをしたというものです。

○会長

それになばりですね。

○委員

そうですね。「ばり」というので、「ばりばりばり」って言いたかったんですよね。
「ばりばりばり」って、なんかやっぱりちょっとう資料提供したときにも新聞の人がちょっを書いてくれへんかなっというのをイメージして作ってみました。

○委員

脚韻踏んで拔群やな。

○委員

別に順序はどうでもいいのですが、一番最初の方案作ってくれた人の意見に任せましょうよ。

○会長

皆さん、里まちなばりはまあ大丈夫ですね。それと人に気くばり。それで、その真ん中が二つがね。

○委員

人あって地域が、一気に、まったくどいようですが地球へ飛ぶよりやはり環境というのはそれぞれの人がやることなので、人に気くばりして地域みんなが目くばり気くばりして、それが日本地球になるんやという順番があるのではないかなと思っております。

○会長

そしてくるっと回って里に戻ると、どっちもいいですね。

○委員

これ例えば、一番最初に地球から始まっても、地球にだんだん自分に近付いて来るというのもあると思うんですけども、どうでしょうか。

○会長

地球は丸だから里にもどる。

○委員

地球というのはぴんどこやへんで。

○委員

あると思うのですが、先ほどもここに説明に書かしてもらったように環境の問題は、主人公は本来は人間だけではないんやけど、人間いや今迫ってるのはちゅうとこからやっぱり人からやろな。

○委員

それでほかの委員も言われるようにね地域と地球を僕は、僕の意見はそうなんやけども、目くばりと心くばりを入れ替えても別にいいのではないかと思います。

○委員

これもう本当にそんなのはもう私はもう全然どっちでもこだわりはないです。

○委員

地域に目くばりでもかまへんのやからね、別にね。

○委員

そやけど僕的にはさっき言うたように思考のストーリーとしてはここにある。人間のことばっか考えたら。

○会長

ちょっとごめんね。今事務局が並べている「地球に目くばり 地域に心くばり 人に気くばり 里町なばり」もおもしろいよ。ちょっとそのままず、いろんな組み合わせで 4 つもあつたらいろんな形で何百回のあれがあるんだけど

○委員

逆かな。並べ方もいろいろあるな。

○会長

いろいろな並べ方あるのです。本当に。いやあ素晴らしい。

○委員

やはり、まずはその小さいところから始めてそれが地域に広がっていくんですよ、それが地域に広がっていったことが要はやがてその地球全体の環境になって、それが守られることによって要はなばりというのもいい環境になるんですよ。要は一体として繋がっていて、まずは始められるところからこう始めていきましようというんであれば小さいところからこうだんだん大きくなって、それがやがて地域にまた人に帰ってくるんですよという意味では人、地域、地球という並びのほうがいいのかもわからんですね。その言葉とかそういうことでいくと、どうであればその言葉の流れで行くと別にそれはいいのかもわからないですけども、どうなのでしょうね。

○会長

みんな正解なんですよ。丸いものは、どっちからでもとにかく回っていくのです。こうくるくるくるくる、だから地球ってよくできたなあと思っているのですが、本当にこれこそ地域の皆さんのセンスだから、子どもから大人まで見た時に、ああ、わが町名張というのがわかるキャッチがある、みんなが一番いいといっているキャッチであればもう全然問題ないと思います。

○委員

下から読んでもらってもいいのです。上から読んでも。

○会長

それもちょうど上手に。もちろんもちろん。

○委員

僕もあんまりこだわっていません。もうお任せで。

○会長

本当にいいよ。本当にどう転んでもいい。私結構にいいキャッチですね。

○委員

ありがとうございます。

○委員

感覚的に、最初にええと、これでええと言ったのそれが一番大体よっぽどでない限りあっていることが多い。

○会長

それでは、人からいきましょうか。一つの手、人と里はもう決まりです。本当にみんな正解なので、あとはセンスの問題だと思います。もうこれを読んでくださる方が「おおー」と思えばもうそれでいいのですがね。では、ちょっと提案者の方どうですか。

○委員

私はこの元のまんまで、やはりちょっとずつ大きくなっていく形をお願いします。

○会長

それで、ぐるりっと里に戻る。

○委員

そうですね。ぐるりと見渡せる最後の落としどころは「なばり」ということで主体は本当に人なのです。これは主人公が人っていうあの計画なので人から始まって全体地球を見渡して、それで、落とすということでこの原案のままでどうでしょうか。

○委員

修正案をおります。

○委員

ただ、逆にこの丸でこう書いたらどうですか。

○委員

ああ、なるほどね。地球

○委員

そしたら右回りか左回りかわかります。

○委員

地球をイメージして。

○委員

降りというたらあかんのやけども、すいません僕の最終目標はなばりのプランやし、なばりが最終人を配慮し地球問題を配慮し、して最終なばりがいいまちでっていうのが目標やから、ぐるぐるではちょっとないです。

○会長

ちょっとごめんね。これ順番もそうだけれども、こう本当に私は市役所の今こう職員さんはいろんな才能があるなと思っているのが、これイラストレーターにお願いしたら結構お金がかかるのに本当にいいスタッフがいて、これみんなただ働きでやっていただいているのですが、子ども、犬、赤ちゃん、犬、おばあちゃん、おばあちゃんいるか、おばあちゃん、おじいちゃん、おとうさん、おかあさん、おにいちゃん、もうおねえちゃん、みんないるね。だからちょっとこれちょっと抜けていてると、ちょっと困るのですが、みんないますね。

○委員

猫がないだけです。

○会長

面白い。それで、緑があって、木が元気よく、かわいらしく、あと鳥もあるのかな、本当によく、本当によく、若干星みたいにピカピカみたいなものもちょっとあって本当によく、それとこれがなばりの、なばりの形ですよ。ちょっと灰色っぽいラインがね。じゃあ、そしたらまずここ、この風にしてもう一度みんな見て最後にもう一度「はい、これで行きましょう」いうように決めましょうか。じゃこれはまずとりあえずこのページについてなにかありますか。

○委員

最後の「里まち なばり」の「ばり」だけじゃなくて「な」も太くした方がいいかなと思います。

○会長

おお、もっと更にいいアイデアです。そうですね。じゃあ「な」も太く。本当にすごいですね。このアイデアコンサルに委ねるとすごいお金もらわなきゃいけない。本当にこのキャッチ私初めてで、いままでにありません。これ豊かな自然とか何とかはいっぱいあるけれども、本当にありがとうございます。

○会長

それでは他の項目について、いろいろちょっと考えましょう。では、まず一番大変だったところで4ページのところに一番上の上から2行目に赤で示されているところですが、これはこれでよろしいでしょうか。

○委員

これについては、もうはっきり言うたら僕の少数意見なのですが、これちょっと全体にプランの全体に関わるスタンスの問題だと僕は思っているのです。これたぶん、前回質問さしてもらったのは、ここの部分なのです。修正は誰が、どの意見でしているのって聞いたのですが、やっぱり庁議とかでこれは役所の書く文章として相応しくないという意見があったのかも、およそこれについては自虐的やという多分言い方になると、そのへんやろいうなあというふうにはまあ想像していました。僕は環境問題こんなに甘いもんやないで思っており、本当にもうあかんでって思っています。例えばそれ以外にも表現で快適環境って言っていますね。快適環境についてもコメントも書かしてもらっていますが、今快適なんて言うてる場合かと、持続、生存を維持するのがぎりぎりやないかと、それに快適って普通一般に快適っていうたら、こたつ入ってストーブ焚いて熱いもの食っているようなそんな感じ連想するので、ほんで表出たら車迎えに来てくれていて駅行っってするので、快適環境という表現そのものにも、もうちょっとこだわって、違和感があるというのを僕の配らしてもらったペーパーの最初の方に書いています。それで、そういうスタンスから言うと自虐的なのではなくて冷静に見たらやっぱりそれからなのです。例えば19ページの写真の名張川ですけどね、これだけ見たらめっちゃくちゃきれいですね。

僕が知っているダムできる前の川に比べたら、これええとこだけ写っていてヒガンバナの色、もう過少に礫がなくても草ばかり生えてしまっているようなところ、下へアクセスできへんような川にいっぱいなっているのに、ちょっと現状把握が僕は甘すぎるのではないかというふうに思っているのです。いっぱいこういう風なことを書かしてもらって、で、我々成長したのはここに犠牲をしたんや、成果とりかえさなあかんでいうのからスタートすべきやないかという僕の思いですね。

○会長

わかりました。あの名張を愛しているからこそこう言えることだと思います。それでは、

一つちょっと市役所としてはわからないけれども、いろんなところで関わった経験から見るとこういう方法で、みんな組める方法は一つありますね。たくさんあるかもしれないけれど、こっちがやったことの中で一番すんなり落ち着いていたのが第1次2次3次ていうところで、ネーミングというかあれはその精神的なもの、そんなのは持ってくるけれども、時代が変わるごとであれば、サブタイトルじゃないけどテーマ的なものを加えます。例えば第3次なばり快適環境プランにしといて、そこに（ ）か「 」とかとかつけて「持続可能な…をこう見据えて」とか記載します。今回5年ないし多分大体10年と先は長いので5年ぐらいはこれでやるのよ、ということがわかるように、今言ったような「持続可能ななばり…」という形でもう一度ここに書くという方法はよくとります。だから、ただ名張市は今までどのような形でやっているのかという、いろんなしきたりめいたものもありますでしょうし、そういうのがあるのですけれども、また、理想郷プランもそうじゃないですか。前からずっと何年前かはわからないけれどもできたものから一番名張市の最高位にある上位にあるその総合計画プランはたぶん理想郷なんかプランとかそういうような形ですと来られたのだと思いますが、節目、節目一番こうハイライトになるものもちょっと入れるとか、たぶんそういう方法があるのだと思います。今、こうおっしゃられるようなものをここに一つサブタイトルにやっているようなことがあるのだとすれば4ページのところに記載します。つまり書き方なのです。ずばり直球をばーんと投げるのか、わかる人はわかるぞっていう感じでちょっとこう書くのか、たぶん言いたいこと同じなのだけれどもどこまでショックを与えるかというか、ショッキングというか、鮮烈に書くのか、そのくらいなのだと思います。正直に私が読んだ時にここはちょっと別の表現にするか、上のところをうまくタイアップして書くのもいいかもしれないなと正直に思っていたのは、人が増えることが悪ですかっということです。むやみに切り倒して何とかした過去の反省はあるけれども、名張がどんどん人が少なくなっていって、もうゴーストタウンになっちゃったら、じゃあ環境が守られていいのだろうかという風にまた更に逆説逆説にいくとちょっと厳しいかなということもあります。書きたいことはわかるので、そこをちょっとうまく考えて書くことであるならば大丈夫であろうという風に思っています。今一生懸命に若い人たちがユーターン、アイターンで名張に来てほしいよとか、そういうことがあるので、人が増えたことによって、確かにそうなんですけれども、ちょっとうまくこう時代に対する夢と希望もあるような形で反省も込めてそのうまい書き方をするか、そこをこの提案のようにちょっと削除してはいるけれどもそれがわかるようなサブタイトルのものをここできちっと書いて訴えるか、やり方はあると思いますが、皆さんにちょっと意見をいただきたいと思います。

○委員

提案者の僕から先言うのはあれなのですが、さすが会長ですね。人口増っていう表現、そのものがちょっとひっかかるのかなという感じがですね。要するに例えば開発と書いたらそれでも随分違うのに今人口増やしたいっていうところに人口増が問題あったと言うているように捉えられますね。ちなみに少数意見で消されましたけれども、僕の総合計画委員の時の提案で僕は5万人としたのです。減らした上でその代り50年5万人、50年間続くという提案なのです。それはともかくとして、言いたいことは過剰開発なのですけれど、人口増が問題であるっていう風にこれでは聞こえますね。それで、その表現、それから僕

が気になっていたのは、犠牲というところで庁議では引っかかりられたんとかうかなと思います。ならばこそ犠牲って書きたいというのがあったので、刺激的に書きたい、いうのがあったので、敢えて犠牲って書きました。過去の人口増は今気にしてなかったのですが、言われてなるほどと、いうことで要するに今現状このままでええんかということ表現したい。今景色ええことないでっていうことを表現したいっていう意味合いですので、この文章のままでないとあかんなんて全然こだわってないのですけども、そんなとこですね。

○会長

では、終わりまでにこの部分にちょっとこうソフトランディングできるようなご意見が委員の皆様のところから出てきて、やっていくのだったら、何か加えるという形にしましょう。今ちょっとこれちょっと今のままだったら直球しすぎちゃっています。例えば一つ例を挙げると四日市市だって四日市公害のことを触れるようなこともうタブーなのです。だって何やっているのよと思うけれども四日市公害のこともう本当に絶対もうパンドラの箱を開けるなやあって感じでやるぐらいなのですね。それに比べて、名張はまだそこまで人が死んじゃったりとかそういうことはまだちょっとまだそこまでいってなかったのだと思いますけれども、四日市は過去に画然たる歴史的なことがあるにも関わらず絶対そういう表現しない。それで私は身に染みるほどなるほどというのが、妙ななるほどというのがあったので、ちょっと考えていただいて、もう一度ちょっと最後に戻っていきましょかね。で、それからですね。まだもうちょっと考えていただきましょう。まずはちょっと最後まで、急いでちょっとやらないといけないところがあります。今大事なところあったのですが、何ページとも言えないけれども若干定量的にやれるものの中で重なったり、意味があるのかなっていうところは私は事務局より相談受けていて、いいのではないかという感じでちょっと消したところがあります。その部分について、皆さんよろしいかというコンセンサスを得ていただきたいのですが、よろしいでしょうか。例えば大きな問題じゃないのですが、一番近いところの分から見ると 11 ページのように先ほども説明がありました「必要な物品の貸し出しの回数」とか、まあなくてもいいんじゃないかなあというような部分はちょっと赤で一応消しているのですけれども、そういったような部分が何か所かありますか。

○委員

それはまあいいとは思うのですけれども、それよりもそれぞれ目標項目に入っている数値なのですが、根拠について、すごく数値だけ入っているように思えます。例えば、12 ページのやつだと 18、21、23 とか細かい数値で入っているのですけれども、他のやつやったらもっとその大雑把な 100 まとめとかね 10 単位で入っているやつがあって、その辺どういう根拠でこの数字を出してきているのが全くわからないのですよ。それで、例えばそれ本当になんかパーセントで入っているやつとかについては、毎年意識調査されているからということで、その本当の訂正的な数字で書いてあったりとか、ここの根拠がよくわからないですね。

○会長

おっしゃる通りです。ちょっと特に 12 ページ本当にすごいところをおっしゃるのですけれ

ども、今三重県の中で行政はまず I S O14001 はもう全部返してるのではないのでしょうか。一時 67 か 8 の時にはもうほとんどとっていたのにみんなほとんどもう、ほとんどじゃなくて県は全部返しちゃった。それで、そういう中で I S O14001 を取りますかって言った時によっぽどのメリットじゃないとたぶん取らないだろうと思います。それと三重版についてこの M-EMS と三重版の関係は実際、私は会長であるのですが増えません。もう割合 1 年で 10 万円ステップ 1 で、ステップ 2、I S O14001 とほぼ同じものが 28 万でいろんなきちきちな作戦でやった場合でも元金の倍ぐらいは取れるのに戻ってくるのでもやらない。やらないということの中で、確かにちょっと細かいですよ。いまだ 18 だから 3、3 増やしとく、2 増やして、たぶんそのぐらいうけに意味があるのという風に言われているのはないですね。

○委員

例えば 10 年間で 10 パーセント伸ばします。20 年間で 20 パーセント伸ばしますっていう根拠があるのだったらこの数字になっているのですっていう説明を受ければそれはわかるのですけれども。

○会長

それはもう無理です。

○委員

14001 ってもうどこも取らないでしょ。

○会長

ありません。ただその名残がちょっとあって、どのところでも何かこうこっちには出るけれどもいろんな部署からもいろんなもので自主目標は立ててなんとか出るもので PDCA で回そうとしている。その名残は悪くはないけれど、それでも大変でしょう。集まらないし。ましては要するに 14001 認証を新しく取得する、それとうちの大学も手作りでやっているものであって、コンサルにお願いしてったら 1 千万。それを維持するだけで毎年 150 万ずつです。それで、どれだけ電気なんか水を減らせば 150 万以上のものが戻るのか、ということを考えてみますと大変なのです。ただ教育だというのであってよっぽどじゃないと特に中小企業が多い名張で初期投資をあれだけしてあるというのは厳しいだろうと思います。

○委員

以前できたころはこれを取得することによってまあまあそのネームバリューが上がるとかいうメリットがあったのですけども、今無いんですよ。コストばかりかかるので、これは増えないと思いますね。

○会長

一時、県がいろんなところで仕事を取るときに I S O14001 を取るのを一つの条件につけたりとかして泣き泣きやる人もいたと思うけど、企業も今はもうなくなっちゃいましたよね。

これどうでしょうか。

○事務局

環境マネジメントシステムについてですが、事務局の方で新たな項目を作ったので、いったん消そうかという案になったのですが、消してしまうにはちょっと時期尚早ではないかということで残しています。数値については、たしか 1 年で 1 件 2 件を増やそうっていう根拠のもとに確か目標を作っています。

○会長

わかりました。本当は、やろうと思えば、これも大変ですね。もうジレンマですよ。名残は残っているじゃないですか。PDCA で回そうって、どうでしょう。

○委員

この数字はどういう方法で把握するんですか。

○会長

希望。やってくるのかなあと。

○委員

いちいち例えば事業所でやった場合、市に報告しないでしょ。

○事務局

ないです。届けられている件数を逆にこちらから確認させていただくという形ですので、管理をしているというものではないです。

○委員

大きな環境活動がどうかは別としてやってないともありますけども、小さなことをいろいろやっていますということですね。

○会長

例えば M-EMS は 10 年間 337 件の三重県全体でやっていました。もとは 500 いくつ 600 近くまであったのですが、やめてしまうのですよ。できなくて、それでもできなくて。それで、一生懸命新しいものをちょっと入れて、三重県全体の何万というちっちゃい中小企業が何万以上ある中で 300 ぐらいがまあまああっているかたちで回るのですよね。そこから 300 のラインも超えない、越えられないほど大変なのです。むしろこれ下にある赤いところはどうでしょうかね。地域等他の主体が実施する環境活動への事業者の参加件数、非常にアバウトな表現だけど、どうですか。

○委員

地域等、地域等との主体ってなんですかこれ。ようわからん。わかっているようでわからん。

○事務局

平成26年度の現状値はクリーン大作戦の事業所さんの参加数を基に算出しています。その上で、今後の目標としてクリーン大作戦と限定してしまうと他の地域のイベントとかに参加してくれる方のカウントが漏れてしまうので、このような書き方をしています。

○委員

事業所、事業者やな。事業者というか

○委員

クリーン大作戦を主体として、しているのであったら、要するに啓蒙であって、普段の実質的にどうやっているかをつかまないと、まあそこまではいいですけどね、別に。

○委員

ちょっと関連でなんですけどね、他の委員さんのおっしゃった14001の話は全くそうなんですけど、それ以外の今の事業の参加数も現状値の14というのはまあいろいろどういう方法で把握したというのはわかるのやけど、17か18であったらあかんのか、16であったらあかん。ちょっとデジタルに記したらええやん、わかり易いちゃうデジタル思考過剰やないかと思っているので、ただむやみやたらと大きな数字も書けへんので、ここの環境目標値とかをこの項目だけではなくて、他のものも全部入れて書いたらどういうスタンスで書いているっていうコメントを入れたらどうなのですかね。

○会長

そうですね。それが一番

○委員

必ずしも自然科学的な根拠があってやっているとか、アンケートでやっているとかいうことではなくて、こういう風なこといろいろあって、こういう数値をこの目標値というのはそう表現しているっていうことを共通項目の説明ですよね。説明ちょっとしていつて。

○委員

そうせなというよりちょっと疑いますよね。

○委員

だから今これ例えばクリーン作戦の参加の団体であれば26年14でなんで10年で3しか増えへんねんと思います。そんなんもうちょっと頑張ったらもっと増えるやんて。

○委員

増え足らんていうのもあるし、はったりかましてるっていうのも

○会長

清掃ぐらいはやってよっていう

○委員

声かけたらもっと参加してくれるんじゃないのって、そう思ってしまうよね。

○委員

で、これ数字がまだ丸まっていたらねええのやけど、7とか9とか、すごい具体的なんです、ここがね。そやからそれ他のところでもものすごい気になるところがありますね。

○委員

そやから書ききれへんところはあんだけど、データより書いた方がわかり易いちゅうのもあるから、

○事務局

一部総合計画で目標数値を定めてあるやつもありますので、

○会長

私もそれが、だから総合計画駄目なんです。余計なことするなって言いたいくらいなんです。

○事務局

そこを、そこをなかなか変えていくことがちょっと難しい部分もありますが、ただその辺のところはまた庁内の方で調整していきます。

○委員

総合計画による他は、他は総合計画と違っててもよろしいやんかそこは。

○事務局

そことの整合をさせていただきたいと思います。

○会長

ただ強制はできない。だからあんなものを作らなくて、特に環境なんかタッチするなって言いたいのですが、しかし、入れなかったら困るのですが、ちょっとちゃんとした形で決めてやれよって言いたいのですけれども、それを全く無視はできないですし。

○委員

これってよ、ほんまに、聞きますけども、この数字って誰が決めたんですか。

○事務局

これは総務で全ての市のいろいろ部署が、関わりの部署があるのですが、そこのセクションでそれぞれ目標の数値を設定したものを総合計画の方の数値でも採用していますし、そ

それを基に我々のこの数値をせってしています。その数値でいただいたものを変えていくことができない、こちらではどうしてもない部分もあるというような部分でございます。で、ただ、我々のところに関係するところにつきましては、これちょっと今こうやってどうかなっていうことでわかる部分でこう修正をさせてもらうのはどうかなっていうことで今日ご提案をさしてもらっているというところでございます。

○委員

すごく頑張ろうと思っているセクションとまあ、こんなもんかって思っているセクションがあるという。

○事務局

そうではないと思うのですが、なにか目標挙げなければならない、なにか書かなあかんみたいという形でしているようにもそう感じられる、取れるようなところもちょっとあるのかなと思っております。

○委員

そりゃあ屁理屈言い出したらね、3人の事業所がやるのと300人の事業所がやるのが同じ1でええんかという話もありますけどね。

○委員

これまたちょっと私は別に数字どうっちゅうことないのですけれども、11ページの地域づくり組織で環境に関わる事業を行った回数65現状値65こんなに少ないですか。名張15の地域で、どこまで押さえている。地域づくり組織の中でいろんな各自治会あり、それぞれ別のがやっていそうですね。その数字つかめないということですか。では、根拠だけ出しとかないとおかしくなる。入れたらこの10倍はやっていますよ。その規模はどうのこうのは別として、名張全体入れたらもっと多いです。

○会長

いやいや、そうですね。もっとたくさんやっていますよね。

○事務局

この数値の説明につきましては、当然目標設定でありますから、数値の説明のようなものをどこかには記載はしていくことは当然必要であると考えます。

○委員

環境の概念、他のところにも書いてあります環境の概念というの、例えば非常に水質のBODであるとか、これもう誰でもわかるのやけど、例えば地域の人たちが仲良くするお祭りこれ大きな僕は環境問題やと思っているし、こういうのはカウントされてないですよねたぶん。

○会長

お祭りでごみをださないにお祭りにしようとか、回していく、使い捨てのものを使わないというのも。

○委員

例えば、それは環境問題ではないのか、というたら環境概念の話であるからね、これ

○委員

人間すべて環境ですね。

○委員

いやこれにすれば数値でデジタルに書こうってしすぎているところに、

○委員

まあまあ、それは根拠だけ書いて、もういくつか無理と思うので、根拠だけ。

○委員

おっしゃるのは目標項目をどうのこうのというよりもむしろその具体的な施策項目とか市民地域の役割とか行政の役割って書かれてあるそれぞれの項目がどの程度推進されていくかっていうことのほうが重要ですよ。だからそこにこそ視点があるべきなのに目標項目ってポンって出されるとなんかそれだけで全てがこう言い包められたような錯覚っていうか、それにね、こうカモフラージュされてしまうけども実態とは離れてしまうという部分がすごい残念です。

○会長

どこのところも国もそうだけど、これ原本みたいなものを作るときには必ず目標数値があってですね、こうどうしましょう。

○委員

本当にちゃんとした数字つかんでいる、これが必要な目標数値やっていうやつだけ書いたらどうですか。今頃になって申し訳ない。根拠を書くかどっちかですね。

○委員

三重県でも結構その環境技師とかにこの簿冊回すと目標数値設定については非常にいろんな議論が出てくるんです。水道のトリハロメタンのその根拠がどうやとかその土壌の鉛はなんでこの鉛どういう風になって具体的なことを考えた上でこの数字を書いているのっていうのはすごく突っ込んでくるので、見る人が見るとやっぱり違和感が非常にあると思うのですよね。ただ無理したことはあまり書かないほうがいいのかなとも思います。

○会長

どうしましょう。ちょっと今までやったことないことやってみますか。あるいは当たらず障らずやるか。ちょっとぎりぎりのところに来ていてあれですけども、では委員の皆様

のおっしゃるのはこれ尤もなことなのですね。これ根拠は何ですか、どういう基準ですかと言われたら本当にこれは、市も困るのではないのでしょうか。

○委員

そうですね。ここ質問されたら絶対困ります。

○委員

答えられへんかったらこれが本当に絵に描いた餅になってしまうんで、

○会長

だって地元に関心のある方は今、出席の委員さんもおっしゃったように何百回もやるよって言っているのに何でこれはその何分の1しか拾わなかったん、例えば1千人以上集まらないと駄目なのか、何かあったのかとか。

○委員

だから、数値書くときはうそでもいいから根拠があればいいのです。いやさっきの65でもこれとこれとこれだけをちゃんと拾いましたという根拠があればいいんですけども、いやってなってしまうと、もうこの全体がもう信憑性がなくなってしまうのですよね。

○委員

数値を入れるのが怖いですね。

○委員

とてもじゃないけども絶対ダメな無理、無理な目標も入っていますよね。先ほどおっしゃったように鉛の含有量を減らしますなんて、これは絶対無理なのですよ。これは無理なのに、あとそれから27ページなのですけども、その下にも書いてある三重県の指導士の数を増やしますよと、名張市が頑張ってそれは増えるのかもわからんですけども、これは県が頑張ってもらわなければいけないことなので、名張市のここに書くのが適切かなっていう気もするのですよね。

○委員

これ27ページのこの鉛の含有量を減らすってこれどうやって減らすのですか。なんか土を全部置き換えされるのですか。これは自然には無くならない。

○会長

そうですね、困りましたね。

○委員

今回は審議会が最終回ですが、あの例えば他の委員さんもおっしゃるように名張の計画に三重県の指導士とかいう、こういうふさわしくないやつはもう項目そのものを取る。それで、例えばその僕、鉛の話なんかは知らないけれど、名張の話やったら知っています。具

体的なテクニックのないやつはもう取る。それで、あとなんか事業者の参加数増やすとかいうやつに関しては僕さっき言うたようにデジタルに書いているのはこういう目標ですという意味で裏付けのある具体の数値を書いているわけではない。しかし、目標としてこうやっているコメントをするのではないですかね。

○委員

目標等が書きにくいのは、書きにくいところやとは思うのですけどね。

○委員

ちょっとやっぱりデジタル思考が勝っているような気がするな。

○会長

物理的に一緒に答申をするのが12月10日頃ですね。

○事務局

一応16日を予定しています。

○委員

先に昨日出しておけばよかったのですが、私どうしても入れてほしいやつがあります。65ページなのですが、あまり環境とは関係ないその防災・減災、防犯の推進のところなのです。ここで行政の役割とかあるいは上のところなのですが、名張市さんで防災ホットメールかなんかやっていますよね。しかし、その文言が全然入っていないのですよね。こういうのをせっかく良いのをやっておられるのだからそういうのを入れられたらどうかなと思うのです。で、最後の目標項目のところもまあこれまあ市民の割合だから意識調査で良いのですが、例えばホットメールに登録している人をもっと増やすとかいう具体的なそういったものは本当に入れたほうが良いのではないのでしょうか。登録者を増やす目標を立てるとか、あれにはそのなんか振込み詐欺が発生しましたよとか、いろんなのが来ますので、そういうのを入れられたらどうかなとは思いますが。

○会長

たぶんこれは企画かどこか。

○事務局

危機管理室の対応です。ただ、今日発生した名張川での河川事故も幸いにもおさまったというか、なくなったわけなのですが、そういった場合もですね危機管理と当然事務の連携をさせてもらっております。当然防災もホットメールというのは有効に活用していくもんやという形で、所管は危機管理の方で啓発、周知啓発はさしてもらっているのですが、これはやっぱり重要やなということで、まだ名張、まだそのとり決まりがちょっと他と比べればちょっと遅かったのかなという部分もあるので、最近やっぱりいろんなところで大きな災害が起こっている中でここを充実していきますという大きな名張市も舵をきりだした状態ですもので、そこのところちょっと入れておくべきものやとして、

私どもで危機管理と話をさせていただきます。

○委員

せっかく良い取り組みをされているのでね。抜けているのがもったいないと思いますね。

○事務局

昔もうちょっと前の話ですけども、この防災ホットメールの活用というのは警察の情報と気象庁の情報しか扱いませんよみたいな、そういうような事情もあったのですが、今はもうそんな関係なしにいろんな情報を市民にお伝えしなければいけないという当然それをそのアイテムを使ってやっていく、という構図に、これ今日一番肝心なところですね。もう今もすでに取り組みも進めています、当然見なければいけないところがあると思いますので、調整いたします。

○会長

ありがとうございます。ちょっと仕事をしなければならなくなっちゃったのですけれども、この目標値、それから平成 38 年までの概ね 10 年ぐらいで 5 年ずつ来ている部分のこのちょっともう一度ちょっと先に他の他の部署ともちょっと相談のうえでもう一度精査していただきたいと思います。

○事務局

そうですね、もうこちらの方で一応精査をさせていただきます。

○会長

どうしても無理な場合にはもう思い切りやらなくても一応いいかもしれないというふうに思いますし、で、私たちは今日、答申前の最後かもということだったのですけれども、ちょっとメールか何かでもちょっと連絡していただいて、最後の最後までちょっと粘ってこうやっていくという形になるのかなあというふうに思います。誰が見てもこれはやっぱり机の上で鉛筆舐めてやったものやな、ということはちょっとまずいので、そこはまあ思いっきり消すなり或は下にちょっと注釈つけてわからせるというような努力したりそんな形で先にやってみましょう。

○委員

すいません。もうひとつよろしいですか。最後のとこなんですけど、第 4 章 計画の推進です、この立派な第 3 次プラン出来つつあるのですけれども、実際にこれをどう推進していくかというのがすごく私は気になるところです。あの行政の役割ということでは今あの突っ込んだ目標数値だとか、というお話も出ているのですけれども、市民の役割とか企業の役割とかというところも明記してある中で、これをどのようにプレゼンテーションしていったら、どのように推進していくかっていうところが連携協力した取り組みが必要不可欠となります。それで、「協働で取り組む体制を整えるとともに」というようなそういう文言でしかこう表現がないので、この辺をどう具体的にお考えになっているのかというところはちょっと是非押さえておきたいなと思います。加えて、あの 2

次プランの交付に当たっては私ども小さな団体ですけれどもやっている中でほとんど実感することなく残念ながら来てしまっていたので、やっぱりその市民や事業者にとってもこの計画がどの程度浸透していくかというところはもうやっぱり一番重要なことではないかと思しますので、その辺のところの具体的なプランなり何かっていうようなところをこの表記だけでいいのかなっていう風にも思うのですけれども。どうでしょうか。

○会長

これは大変重要な指摘だと思います。そういうこともあるだろうということで実は 66 ページのつぎ 67 ページに入れても良かったようなこの 5 ページのところにトラックの上に市民と事業者と行政入れて実践、企画、連携は前だったら企画行政がやれよと、実践は市民がやれよとかそういうような形で書いたものをちょっと書き出しの文字を太くしたりちょっと考えていただいたらいいかもしれないけど、みんなが大人としての責任と、権限を持ってやりましょってということで、このくるくる回っていくものの中でどちらかこけたら終わりだということがわかるような狙いを込めてこういうふうに書いているものなのですが、で、ここ一番最後のところの計画の推進において、新ガバナンス、成熟した市民社会というようなものがここをやっていくものになるなということが 5 ページのところにもう一度こう落ち着いてくればいいんですけれども、たぶん本当にこれ読んでいる方々は、え、こういう感じではやります、ということで終わりか、というふうに思う可能性はありますね。だから何が言いたいかというと、この 5 ページ、まあ計画、3 の計画の期間は 5 年ごとに考えるのか、もうちょっと大きな社会の変革があったら見直しをするのねということわかっているのですが、この上のこのトラック、これの部分を例えばわからせるようにもう一度この 66 ページの文章の中できちんと書くことが必要かも、ていうように思いました。今。で、見たらば、確か 4 ページはまあ計画の位置付けがどこがどこがどこがこうなるんだよというけれども 5 ページの上に＜快適環境を保全・想像するための行動主体＞だけにして、それぞれがやるけれどちょっと説明がない。ここの説明を後ろ 66 ページ意識して書くか或はちょっと表現を変えて 66 ページにもう一度くどいようだけれども嫌みがないような形でうまくもう一度ちょっとわからせる工夫をした説明文をつけるか、その 5 ページは 66 ページと運命共同体のようにちょっと考えてもう一度もう一度ちょっと考えればいかなと思いますね。たしかその通りです。

○委員

名張の福祉教育なんとか連携サミット、地域福祉教育総合支援システムを作りましたやんか。まあ、あそこまでいかんでもいいから、事業者、市民、地域、行政、その中で連携して、連携もしくは連携っていうたらおかしいんやけど、そういう位置づけのこれでもいいんですけど、今言われたように。もう少しお互いが貢ぎ通すというのをちょっとこう作られたらどうですか。

○事務局

そうですね。ちょっと一度その辺のところも考えていきます。

○委員

それに関連してですが、僕ちょっと今日の僕のペーパーにも書いているのですが、これ最終回でこれやったらわかり辛いところいっぱいあるし、で、出席の委員さんで環境と言うた時にどこまでが環境の問題やとかいうのもあるものでっていうところもあり、本プランの理解周知のためにもこれが終わった後に、朴恵淑先生コーディネーターの名張環境シンポジウムを開催してはいかがだろう。

○会長

いや、それはとても大切なことですね。

○委員

それで、環境の概念は、こんな広いところもあると、ほんでいろんなこともいうことをやって、場合によっては、定期的にこれが進行管理の、計画の進行管理のチェックのためのシンポジウムを定期的に、定期的は年にいっぺんかどうかしらんけど。で、それは別にプロの先生が来てもらうのもいいし、市民が出て事業者が出てどうやっていうのをやるというのはずっと計画の進行管理で

○会長

これこそ目標値掲げていきましょうよ、これはもういいじゃないですか。やっぱり

○委員

僕はこれプラン発足記念に一回だけやと思たんやけど、そういうのをやっていくというの
は。

○会長

いいです。いいですね。で、そこに

○委員

だからいいんですよ。快適環境審議会へ報告し、て書いてあるからこの報告の時にそういうのをやればいいわけでしょ。

○会長

それで、そこにメディアをうまく使ってやってるぞ、やってるぞ、やってるぞーっていうのをしっかりアピールが必要です。

○委員

具体にはそういう会をやるというふうに書ききった方が、ね。

○会長

そうですね。人もちょっと出てきて、みんなでワイワイ誰かを何とかするのではなくて、共に生きるんだっていうような感じでのもの、そういった、そういうのはいくらかでも計画立てて目標値立ててやってももう別に文句もないでしょうし、かえってあのここのPDC

Aの名残が、あ、ここで回っていくんだねと、本当はこのトラックはPDCAが回っていくのと同じなのです。もとはちょっとこうちまで行くようにスパイラルがアップしてこう巻貝みたいに「ぐにゃー」ってやってやるのが一番いいのですけれども、それが3次元的になってくると、ここがなかなかやりにくいからあれだけど、ちょっとこうグラフィックデザインの才のある方ならこう上がっていくような感じで、こう上がっていく。わかります。こういう感じで、それはいいアイデア、とってもいいアイデアじゃなく本当にそのごもつともなので、ことなのでいきましょうか。まあそれはもう修正してでもいいじゃないですか。で、足りなかったら、ああちょっとメディアもうちょっとやってよっていう感じでやっていくし。で、同じ場所で1回だけじゃなくても例えば出席の委員さんとかいろんな方々のコミュニティに出て行ってちょっと話し合いをしましょうかという感じでやっていったり、そこを重ねていけばいいんじゃないでしょうかね。委員の皆さんはちょっとこういう風にちょっと新聞にも投稿していただいて、いい環境基本計画出来たからみんなやりましょう、ていうのをちょっと書いていただければ、新聞は広告出すと高いけれども記事に載せていただくのはただじゃないですか。で、そういうような感じで一度アピール方法とかやっていきましょうか。それと3ページ。この見出しは何回も何回も見たんですが、皆さんもう一度ここが一番お顔みたいな最初これ見て「うわー読みたくない」で思ったらちょっと困るので、ちょっと魅力的なこう「うおー」と思うこの最後のちょっと力振り絞っていただいて、この分もちょっと終わりに近くなった時に、ちょっといただければ非常にありがたいですね。此処をちょっとよろしいですか、この1ページでも背景みたいなものとかいろいろなの、

○委員

まあ、僕はここは全体でさっきも言いましたけども「いかんかったなあ」という風に思ってるんですけどもね。

○委員

行政の立場から言わせてもらおうと、こういう書きぶりになるのかなと思うのですけれども、一般の人から読むとたぶん長すぎてなんの、まあまあ書いてあるなど、多分読まずに飛ばすところなのでね。だから本当に読んで欲しいのだったらもう少しコンパクトにしてもいいのかなとは思いますがね。ただ、ただ、行政の作る文章としてはまあこうなるのだろうなと思ってしまいますね。

○会長

では、そしたらそれと合わせてちょっとこうお顔、お顔のこの表紙もちょっと一緒にちょっと見ていただけませんか。今出されているものとか2枚綴りのものもちょっと踏まえて、

ちょっとごめんなさい、私ちょっと勉強不足であれだけど、この名張のナッキーちゃんと、ナッキーちゃんとかナッキーさんとこの方はなんだっけ、

○事務局

ストッピーちゃんです。

○会長

これは両方とも正式な市のマスコットですか。

○事務局

そうです。はい。ナッキーが市全体の。

○会長

ナッキー、ナッキー、ナッキーが、若干紫っぽいナッキーちゃんと。

○事務局

ナッキーは桔梗の花ですね。ストッピーはポイ捨てであるとか、そういうゴミの不法投棄の防止の啓発キャラクターですので、ごみ袋の形をしています。環境のキャラクターです。

○委員

あ、ストップしているのか、これ

○委員

ゴミ袋がそうか。いろいろかけてそれもかけていますね。ゴミ袋、レジ袋、そういった。

○会長

それで、何が言いたいかっていうと、いろんなキャラクターがある中でどっちが、どっちがあれかなあと思って、オフィシャルなあれはどっちで、環境に関するもののロゴはこっちですか。

○事務局

市のオフィシャルはナッキーですね。どっちも登録しているのですけれども、ストッピーのほうが環境対策室の管理下にあるので、ちょっと使い勝手がすごくいいというか、双方並べるとケンカするわけではないのですが、ナッキーちゃんのほうがちょっと使用方法に制約があって加工しにくいので、今の表紙には、環境対策室のキャラクターを仮置きしています。

○会長

だから何が言いたいかというと、この表紙の今裏表紙やないけど名張市の環境が作ったのよっというかたちやった時にここにストッピーちゃんが来て、前にナッキーちゃんが来たら駄目なのか、左右うまくこううまくやっていいのか、これがちょっと私にはちょっとどっちがどっちかっていうのがあったんで、ちょっとこっちにさせていただきますでしょうか。

○事務局

どちらもそういった使い方は大丈夫だと思います。何かその表記であるとか説明であるとか、簡単にはいるのかなとは思いますが。

○会長

うちの大学は厳しいですよ。縦横もある、たてに絶対にできないし、

○事務局

そこらその辺のとも合わせて確認をいたします。

○会長

大丈夫ですか。それで、なんでそういう疑問が出たかっていうと、ここらへんがストッピ一ちゃんがない。だから、これは、細かいところだったのですが。それで私前からちょっと気になったのはこの苺は、名張の苺、名張の特産品、なんとかなんとか甘い苺あるじゃないですか、三重県が開発した。そこが名張。

○事務局

苺狩り園ですね。ブドウ狩り園に苺狩り園という観光農園として苺狩り園があると。あとふるさと寄付金のお礼を、苺でしていますね。

○委員

それを入れ出したらメロンもや。

○委員

そうやっていろんな、なかなか難しいな。これもあるでっていう。

○委員

そのうち日本酒入るんとちがう。

○会長

そうよ、そうよ、伊勢志摩サミットで取り上げているとか。

○事務局

これ一応あのこっちのバージョンは春夏秋冬というふうに

○会長

なるほど。では、せっかくだから、これたぶん手作りだろうけど蛍が舞うあれはもうちょっと精度をちょっとこうちょっとうまくしていただいて、蛍というのは、これは大事な蛍じゃあないですか。これこそ皆さんのセンスで一番良いというものを作ることになるのですが、基本的にシンボルマーク、ロゴは使うのか使わないのかということちょっと考えていただいて、やっていく、で、春夏秋冬はどっち、これは春夏秋冬わかったけどもう一つのところどこから春だっけ、桜から

○事務局

桜から春です。夏は半分占めています。すみませんが、現時点で事務局に冬のいい写真がなかったで、ちょっと稲刈のそれをちょっと冬というか秋というかという形になっています。冬は、どうしても色合い的にもいいものがなくて。

○会長

それとせっかくこの紫が桔梗の花じゃなくてアジサイじゃないんですね。もし、もし桔梗園みたいなのがあったらそのもしもしあったら。

○委員

桔梗の森公園にいっぱいある。

○委員

桔梗の花、快適環境の知り合いの方で持っていますよ。あの写真。この前桔梗の花一緒にしたから。まだだから、もう終わってますから。去年のやつはあります。

○委員

名張の自生の桔梗です。

○会長

わかりました。それと一番右下はなんでしたっけ、これ。

○事務局

これは、赤目のハイキングロードです。奥の方に山道があるんですけど、そこから撮った写真です。冬となると、どうしても色合い的にいい写真が少なくなってしまうです。

○会長

名張市の広報室は写真とかいっぱい持っていませんか。

○事務局

そこからもらったものなのですが、冬はどうしても写真が人の顔が良く写ってしまうものが多いので、それが使えないということで、あまりいい写真がありません。

○会長

なるほど、じゃあだったらここだけは仮にして、これから冬になるので撮りに行ってやりましょうか、

○委員

もうちょっときれいなものがあれば

○事務局

そうですね。大雪が降ったりとかそういうふうに撮れたらいいのですけれども。

○委員

写真好きな人持ってるで。自然撮る人結構。

○会長

あるいは、市役所の掲示板とかに写真持っている人ちょっと、とか言ったら

○事務局

あ、そうですね。

○会長

だったらそこにこの写真は何々様からの提供による写真ですって喜ぶんじゃないですか。
うしろにちょっと、こう後ろの裏表紙にでも書いていただければ。

○事務局

最終写真、イラストはですね、策定の際にはですね特に影響、期限という影響ありません
もので、校了する前まで十分間に合います。日程的には 2 月ぐらいまでは、これを変えて
いくということは自由な分ですね。文言とか表記は 12 月の答申ということが先に立って、

○会長

じゃあ取りあえずは、どこでいきましょうか。この 3 パターンのうち。みんな素晴らしい
ものではあるのですが。皆さんのこれ好みにはよると思うけれども。

○委員

かなりこれは好みの部分とあれがあるからやけども、写真の中身とかいう僕なんかはこい
つ好きですね。

○委員

一番おさまりやすい。写真の中で変えるとかいうのは別にしてね。

○会長

じゃあ、そしたら取り敢えず、これでちょっとじゃあいきまして、で、例えばちょっとこ
だわるようであれだけ、ストッピーちゃんとナッキーちゃんがどうなのか、ちょっとだ
け考えていただいて、やりましょうね。で、それから。

○委員

表ナッキーちゃんやろな。もし一つずつ選ぶんやったら。

○会長

オフィシャルは大事ですよ。オフィシャル先ずあって、ストッピーちゃんが環境のシンボ
ルはどこかにうまく。

○会長

裏表紙でも、それはそれでも大丈夫ですね。で、ちょっとケンカしないようにうまくやっていただくと。さっきもちょうと出ました4ページのところの2行目のところの部分も踏まえて、あるいは私たちが全部こう今までやってきたものを集約していいキャッチも気くばり、なにばり、なばりまで来ているということも踏まえると、例えば、例えばここにもったいぶって後ろのページ見ろとではなく、ここに人に気くばり、なにばり、なばり・・・ばりということを入れたら、なんじゃこれというふうに私は飛びつくんだと思うんです。先ずなにばり、なにばりってここに書いてああ、これだというふうにするようなちょっとこうショッキング療法使うのがいいかもしれません。そうするとこの快適云々というような区分がいい感じで、「ああ、あんなったら本当に快適になるんだ」なんていうと思いますので、取りあえずうまくこれは自治体を3つにするのかどうするのかかわかんないけど、うまくこうちょっとバランスのとれた形で入れてみたらどうですか。生みの親、どうです。なにばり、なにばり

○委員

第2次のプランの中でもつかわれていますので、第3次も是非使ってください。

○会長

ありがとうございます。じゃあここで使わせていただきましょう。ではそれからこっちまで来て、じゃあちょっと最後に近くなるんですけども、4ページこの2行目の名張市の過去の人口増には、いかがでしょうか。

○委員

僕はですね、自分自身のもし書き直しをするとですね、過去の人口増ではなしにですね、開発によって自然、文化、景観が劣化した部分もあります。犠牲ではあるけど劣化ぐらいまで譲ろかな、劣化という言葉の方がきついかわからんけど、部分があります。その復元という、僕は復元に拘っているんですね、今ええのと違って戻すだけでいい。さっき今のことしゃべりながら、その復元にとかいうのはいかがかなと思いました。

○会長

1行イキですか。上の1行。名張市はこれまでこの一番

○委員

名張市はこれまで自然、文化、景観と強調できるように努力、発展してきました。と、これはまあこれほんまに書くのかなと気はあるけどもしこう書いたら、そしたらその続きいったらその名張、その名張市も開発によって自然、文化、景観を、が劣化した、を劣化させたなんやけども、した部分があります。その復元にと入れて続けてくれたらええなという風に思ってるんですけどね。

○委員

ちょっと重ねるやな。重なるやな。

○会長

ちょっと専門的なことになって申し訳ないけど、復元ものすごく難しいんです。あの復元というのは日本の方大好きで使うけれども、私みたいよそ者から見ると再生、復元というのは軽く言えない。修復できないかもしれない、ていうように思っているんですね。で、よく四日市行くと再生、復元ということもよく使いたがる人がいるんですけども、これはものすごく死ぬほど頑張らないとみんなが頑張らないといけないということの提言で使うということになるんですね。そうすると復元というのはどこまでできれば復元なのっということもちょっとありましてですね、例えば鮎が戻りました。鳥は戻ってきました。そこまではかなりの気の遠くなる時間が必要になるかもしれない、そういうこと考えた時にこの1行、これ大変重要な1行だから私も活かしてやっていきたいなと思うんですが、若干、若干逃げじゃないけど若干柔らかい中で反省も込めて未来に向けて今私たちがやらなきゃということわかる1行が入ったらいいかなと。

○委員

まさにその通りなんですけれども、私はねもうこの2行目はこれしかないと思うんです。何も犠牲にしない。あの、当然人口増、自然、それは犠牲というよりまあ表現別、犠牲って決していないで、それなりに発展してきたんです。その表現としては自然、文化、景観と協調できるように行政、地域が努力してきているんです、今。そのマイナスも。

○委員

その中に、その中に入ってると思います。

○委員

そうですやんか。で、何もこのこと犠牲に、まあその犠牲という言い方おかしいんだけど、マイナス面は当然なんかしたらあるんで、だから、その今言ったように逃げはせんけどその柔らかい言葉が必要かどうかもう柔らかい言葉必要、上の1行だけでも私はもう十分で、

○会長

なるほど、上の1行にいろいろなものが入っていると。

○委員

その中でこれから新たな、新っていったらおかしいんですけど、環境にマイナスないいろんなことについてはこれによって進めますということでしょ。このプランによって。私はそういう考え方で過去のことはあんまり、逃げはせんけど

○委員

あのですね、ここの庁舎やないもうちょっと上から窓の景色見てください。あの景色見て、それをそれまでOKというならもう。

○委員

ひょっとしたらね、1行目名張市はこれまで自然、文化、景観と協調、協調することを忘れて発展してきましたって書いたらどうですかね。

○委員

なんで忘れたん。忘れてないです。

○委員

忘れてるでしょ。

○委員

いや忘れてない。私はそう思います。

○委員

いや、僕は忘れたからこの結果になってる

○委員

委員の皆さんいろんなあれで活動してくれてるんですけど、あの、忘れて犠牲にということとは絶対ないと思います。

○委員

いやそしたらそれも考え方の話ですから表現、表現の合致はないですこれは。そやからこれはもう平行線です。

○委員

それは、見落としはありますよ絶対、発展するためにも。

○会長

ここは自由に話をして一番いい最大公約数を探してやっていくので、どんどんどんどん言っていたきたいというふうに思いますので。

○委員

言うて下さいね。私が間違っているかもわからんし。

○委員

やっぱり私もその人間が生きている以上そのもっと翻ってね、はるか昔から自然と付き合いながらっていう言葉はいいですけども、やっぱり自然を破壊しながら発展してきたっていう人類の歴史があると思うので、その名張のここの部分だけを特化してその犠牲にという言葉をここで敢えて入れるのはどうかなっていうところはちょっと思っていたところですが、委員さんが名張への思いということでご自分がずっと育ってこられたその環境なりっていうそこへの愛着というのもすごく良く理解できるんですけども、このなばり快

適環境プランの中にその部分の時代を特化してそこへ戻るようにしようという、という働きかけではなくて、じゃあ今こうだけれども、じゃあ未来はどうあるべきかっていうふうなそういうベクトルの在り方のほうがいいような気がするので、ちょっとやっぱり私は、私もこの部分はクエスチョンマークです。

○委員

では、ちょっと概ね僕が問題になっているんで、言いますと、犠牲は意識して書いたというのを、喧嘩売ろうみたいな感じで書いたというのは承知しているんです。で、ただ、ちょっと間違えないでほしいと思っているのはそれで今日あと景色の記事を持ってきたと、自然が劣化やと、例えば僕は棚田なんて人がもう大いに自然に関わったものです。ものすごくきれいな景色やと思っています。ですから、自然の劣化だけを言うてるのではなくて、その…

○委員

付き合い方みたいな。

○委員

ここの町でどんな人がどんな考え方で暮らしているというのが結果暮らし、景色になっていると、前から僕は言うてるんです。景色の一応専門家として言うてるんですが、道端にあのカラフルな大きな看板がだらだらと出ているのは町の景色も何にも考えてない人たちが暮らしているからやということで僕は、これを劣化と言わずに何と呼ぶんやというて、ほかの言葉を僕は知りませんというぐらいの意味です。で、だから、敢えて言うたら、ここまあ妥協点で名張市はこれまでの自然、これまでと違って名張市は今後もぐらいで行きますか。自然、文化、景観と強調できるよう努力し、発展していきましょう。ぐらいに書くんやったらもう、これやったら今後の方向だけ書きますね。

○会長

そこが今、今ちょっと言い方が違うだけであって、目指すところは同じということでちょっとよかったなというように思うんですね。それを今皆さんがおっしゃるようなことがその次の行にさりげなく何が書いてあるんですよ、今。ここは評価しつつ、この評価ということだけをただ単に 300 人来たからAだBだということという意味に捉えるのではなくて、過去のいろんな出来事に対する反省もあり、だけれども今私たちができることは何かあるのかと、そこ未来に向けてやっていくということで、社会が変わっていくことにも対応していく、いろんなことがここちょっとこう下のところと上のところをつながながら読んでいくと言葉をどこまでトーンを上げるかは別にして、今名張市はこれまでここがちょっと味噌かなと思っているんですが、これまでここで手も付ければ自然、文化、景観と強調できるように努力し、発展してきましたということの中にあるんじゃないかなと、これまでに敢えて手も入れることでその下のところのもので、だから私たちは今ある環境の部分を一つのかけがえのない資産として考え、客観的にきちんとした評価をしていくよと。そんなところに過去現在未来を見るんだと、見せてやるんだということでとらえられないかなという。で、ご意見のある委員さんには、ちょっと腑に落ちないかもしれないけれども、

ズバリズバリくしゅくしゅくしゅとこう刺さなくてもそこに読み取れるようになるんじゃないかなというちょっと幅広くとった。

○委員

何度も言ってるように、あまりにも敢えて承知で喧嘩売ってるような書き方してますんで、表現を変えることは表現を変えることにはこだわりません。ただ現状認識がこれでええやんかと思われたら困る。ということ。

○委員

それはわかります。

○委員

というぐらいのことなんです。

○会長

それで、この下、この実にこの下がちょっと、上がいかないけどいい文章がずっとつながっていつてですね、最後に環境の負荷が少ない持続可能な社会の構築に取り組みますと、ここに言いたいことが全部圧縮してるんです。だからきちっと傷口をざっと作って血を流してからやるんだっていうことじゃなくて、若干切り刻みながらこうあのちょっと

○委員

あの、この話題降ります僕。ていうのはあのそもそもこれはなんであかん戻せって僕言うたわけではなくて、関心あったんはこれを消せって言うたんはどこで、どこで誰が消せって言う話になったんかっていうのを質問したかっただけで、庁議やったって聞いたんでそれでは、

○会長

では、そしたらちょっと納得説得、あのこう大人の対応をしていただいてありがたいんですが、持続可能な社会やりたいんでしょ。あのここを謳いたいんだわ。で、そこなんか導入の部分においてショックをどのぐらい、100万ボルトぐらいにするのかどうかの部分なんだけども、100万ボルトに近いものまで来てるね。こう入口からこうわーっと踏んでみると、だから、申し訳ないけどちょっとそこを汲んでいただいて、この規制にしてというところの部分の部分がちょっと削除していただいて、この流れを見るという形にする。

○委員

今おっしゃったのすごくよくわかる。だから豊かな自然に包まれた快適環境にして次世代の人々に引き継いでいくための後に例えば歴史の経緯を見据えながらとか、その過去への振り返りを一つ入れて環境へので、ここで未来へ環境への負荷が少ない持続可能になっていうふうに繋げてはいかがでしょうか。

○会長

そこがこの上の 1 行がこれはおもしろい、名張市はこれまで、このこれまでっていうものの中に過去を見る。それから、今をもう一度見直す、未来に対する道筋を作る、そこをだから敢えてこれまでというところにステッキをぱっと入れたら、下まで行くんじゃないかという、若干柔らかいやり方なのだけれども実はこれ厳しいものを言っているようなので、私国語学者じゃないので何とも言えないけれども、時々妙なところにこんな一つ入れることでちょっと変わるというのが日本語のいいところだと思って、変に外国人が日本語のこと言っって申し訳ないけどどうですかね。

難しい。それで、そこでちょっと 1 行抜けているけれども、「最後まで取り組みます」までちょっと 1 回ちょっとさーっと読んでみてください。それで納得いつているならばありがたいし、ここ新たな政策とここがまた自分の首を絞めるかもしれないことに節目節目ちょっと入れたという風に思っているんですけども、だから、行政も適当な緊張感は抜けずにずっとやっていくと、で、そういうことは庁内が縦割りでありながらも横の軸を入れないと、あれがあるからダメ、これがあるからダメということでは済まされないぞと今市民の意識はもうものすごく高いところまで来ているので、行政がそこの彼らの考え方を汲まないと時代遅れになっちゃって恥ずかしくなっちゃう、行政できなくなっちゃうので、ここには、ここをやわらかく書いてるけれど、こうとげとげとげしているものがあるよということを皆さんにもちょっと皆さんちょっと伝えていただければいいと。

○委員

あの、やりましたたくさん。あの僕、さっきから言うてるようにこれが誰が消した、敢えて僕刺激的に書いてるのはもう承知してるんです。誰が消せて言うたんか。ていう質問をただけで、あのこれもっぺん復元せえっていう意見を戻せっていう意見を言うてるわけではないので、あのこれは納得です。

○会長

ありがとうございます。

○委員

大人の納得で、納得です。

○会長

じゃあ、良かった、大変なこと言ってるのでありがとうございます。じゃあ、拍手、よろしく願いますね。で、その代りって言ったらあれだけど 5 ページのこのトラックのこう誰がやるのということは 66 ページにはつながっていくので、わかり易く、こんなに大きく書かなくてもいいから絵をちょっと文章を 2、3 行くらい書いてちょっと位置付けさせていくと、そういった形で行きましょう。それから最後のもう一つがですね、最後の化粧なんだけど、ぱっぱぱっと写真を入れてるのはいいんだけど写真が真ん中にあったり左にいたり右に行ったりというのはちょっとうまく美しいお顔にちょっとしていただければありがたい。それと 28 ページこれはほめてちょっと暗いのかあれわからないけど虹がかかってますよね。これ虹はすごくいいじゃないですか。これはもう七光りのところに名張は輝く、行く、これ虹じゃなかったっけ。まさかオーロラじゃないよね。虹だよ。

○事務局

先週か先々週ぐらいにちょうどきれいなのが 4 階から見えたので。雨上がりの時に虹が上がったんです。

○会長

そうでしょう。だからすごくすごく、あのここで象徴的じゃないですか。名張は行くぞって感じで。で、いいものもあるけれども、あのちょっと左に右にそれから 48 ページはちょっと勿体ないスペースが、クリーンセンターをもうちょっとこう「わー」っとのったものがないんですの。

○事務局

撮り直してきます。

③答申書についての審議

○会長

16 日に市長に答申するまで、それまでちょっと時間があるので、もう一度見ていただくんですが、そこであのちょっと私たちのこの熱い思いを汲んだ形で今皆さんに答申案の案が出ています。で、この答申案について、私はちょっと皆さんにもお願いしたいのは 2 枚にはならないように 1 枚で、1 枚で鑑みたいにやってこれを備えてよろしくお願ひしたいという形になるのがいいんじゃないかということで、1 枚の鑑を ちょっと作ったらどうでしょうかということを行いました。で、そこで今案が出ているのは A 4 1 枚のものでありまして、そこに 1、2、3 ことを皆さんに是非とも意見もいただかなければなりません。というのはたくさんあるものの中で少なくとも市長にこれだけはわかってくださいと、それで、これだけは私たちの中では議論もたくさんありましたし、ここのハイライトですよ、ていうことを言うことに相応しいのかどうか、で、今日のような喧々諤々、すごいいろんないきまぜてるということがない平和な時に書いたものだから、迫力がちょっと足りない。だからここにちょっと迫力と魂をちょっと入れていただいて、これこそ、これこそもう「がん」といってもいいんです、鑑ですから。で、そこをちょっと見ていただけますでしょうか。これも今日で全部最後から、最初から最後まで作らなくても若干変わってもいいですよ。

○事務局

はい、大丈夫です。

委員の皆様でご尽力いただきまして、作り上げていただけたらと思います。

○会長

ただ、若干ここは行政の目線で書いています、わざと。ていうのはどういうことかという、トップがちゃんと緊張感を持ってやってよということを促すためのものでありまして、プロットじゃない、若干気持ち的に産官学民のこうプロットということではなく、市長はちょっとやってというような、ちょっと飛んでちょっとやっているものなので、市長をこ

うちちょっと持ち上げるようなふりをして圧力かけるというような形でどうでしょうということを書いているのですけれども、若干ちょっと文言とかは考えないといけないかもしれませんが、ここで抜けたよと、これはもうちょっと例えば1、2、3じゃなく4ぐらいにして、もう一つ入れてもいいんじゃないのという意見があればいただきますし、どうしましょうか。

○委員

これ朴先生あの二つ目のね再生可能エネルギーについての景観への影響適切な管理の議論がなされています、というのは、まあおそらく前にも話題になったソーラーパネルのことを意識されているのだと思うんですけど、ちょっとこの表、表紙にももちろんあれやっとなあかんのやけども、ここだけ書くのがちょっと突出してるなという

○会長

おっしゃる通り。それとその通りです、再生可能エネルギーとかエネルギーはですね環境畑じゃないんですよ。これがまた行政の不思議なところで産業なんかか公用何とか経済かいろんなところ名前ちょっと違うけど環境にくだないんです。だからこれはちょっと確かにグリーンとこれ出るものではなく、グリーンと出るものはこの環境のことをメインストリームに入れてちょっと文章の中にあるんだったらともかく、ここちょっと私も確かに、私たちここで再生可能エネルギーはがんがん言ってないじゃないですか。そのとおりです。今のところをちょっと考えなきゃなりません。

○委員

そやから敢えていえば 例えば景色話をしてしまうさかいにやけど、いわゆる環境にええなといういわゆる狭い範囲の環境にええなという施策が景色のような環境あるいは地域コミュニティの環境を破壊するネタになるような矛盾するものもあるんで、そのへんのバランスをよく配慮せなあかんというような。

○会長

たぶん今おっしゃられるのは今日話題になった4ページのところのこの1からのところの部分のをもうちょっと汲むというようなことだとは思いますが、で、正直に1はまあちゃんと積極的にやるようにちゃんとやってよということで、どちらか情報発信みたいなことばっかり書いているような気がして若干これはもうちょっと直さなければならぬなというのを思っているんですが、総論的なものをちょっと一つ入れてで、核論のところでは、これだけはあるようなものを3つぐらいあってもいいかなと思う中で1つ、ちょっと私お願いしていたのは教育とか次世代を担う子どもたちに対するそういったようなものが絶対必要だろうということで、そういうことは最後でもまあ真ん中でもどっちでもいいから入れたらどうだということが多分3番のところになっているみたいなんです、この2のところが悪手になると再生可能エネルギーというようにところのものに景観を守りましょう、何しましょう、持続可能な社会作りましょう、ということはちょっと消されるような気がしているので、若干出だしのところを工夫が必要であると、には思いました。

○委員

いろんな視点で、環境 1 つの視点だけで見ずにいろんな視点で文化の環境も自然の環境も、いろんな視点で見てくれということを書きたいんですよね。

○会長

そうです、そうです。

○委員

それで、1 番 3 番もそれでいいと思うし、で、多様な視点からと書いて例えば再生エネルギーってそのソーラーパネルを具体的に例えば「のように」の景観問題のようにとか書いてしてもいいかわかりません。多様な環境多様な環境の視点というふうにという、

○委員

この 2 番が出てきたのはこないだの市議会でも実は質問がありまして、で、これが実は第 3 次審議会のプランの審議会の方で今審議中であるというふうに市長が答弁したんですよね。あの太陽光発電のパネルについてのその景観云々ということについてある議員が質問されたんです。それについて、ここの審議会で審議中ではあるというのでそれに託しますみたいな答弁を市長が。

○事務局

市長ではなくうちの部長が行いました。

○委員

たぶんだからその辺の伏線があるのかなと思うんですけども。

○事務局

以前、その最後の審議会の時にはその情報の収集であるとか、そういった文言で取りあえず答弁させていただいてまとめさせていただいております。

○委員

それで、他市ではその条例化にまで踏み込んでいるけれども、じゃあ名張市はどうなんだっていう風にこう市議の方からの問いかけがあったわけなんですよ。

○会長

なるほどね、やっぱり大きくちょっとクローズアップされているんですね。前も大きく私たちのを取り上げて。それでしたら、この 2 番のところのものをちょっとうまくちょっともうちょっともうちょっとこう一気に突拍子もないような形で出てくるのじゃなくて、流れの中でどういうふうに。

○事務局

それでは修正します。了解しました。

○委員

私がちょっと気になったのは、すごくこの中で人材育成次世代ということがすごいテーマ大きくなっていて、これがすごく大事やっていう中で、ちょっとしたことなんですけど、知識の効用が重要でありますっていうので、知識はものすごく大事なんですけど意識もすごい大事なので、知識の高揚

○事務局

意識の効用っていうことで、私は意識の効用やったんです。これ次世代に引き継ぐには環境への意識が、環境に関する知識じゃない、環境への意識の向上ですね。私的には全然変換間違い。ただの勘違いでちょっとうち間違ってしまったんかなって思いますので。申し訳ないです。

○会長

いえいえ。ちょっとそういうのもありますからこういう審議会が必要になってくるので、

○事務局

意識と知識じゃ全然違いますので、次回までに修正いたします。

○会長

じゃあ変えましょうか、はい。だからそれともう一つ、されたい、いただきたい、努めたい、の何とかしたいということは我々は人に対して何かしたいというかたちあれなんですけれども、トーンが一番強いのは何ですの、いただきたい、されたい、なんというの

○事務局

されたい、いただきたいは同じトーンですね。

○会長

同じトーンですか。

○事務局

お願いしますとか何々してください。お願いしてください、お願いします、してください。されるよう何々要請するとかね、するとかいうのが一番きついでしょとか。

○会長

されるように要請したいんです。

○事務局

されるように要請したい。

○会長

お願いしますじゃない。

○事務局

ちょっとそこの書きぶりにつきましてはこれ前のほかのこれは理想郷プランの書き方を踏襲して書いたものですが、ちょっとその辺のところも参考にさしてもらいながら、ルールってあるのかも含めてですね、ちょっと調べます。

○会長

本当はお願いします、かもしれないけど、

○事務局しますというような

○会長

お願いしますじゃなく、やれよという。

○委員

それはあれですね、努めることとかね。そういうようなものをよくもらいますので。

○会長

そういうちょっといいことを教えていただければ、ありがたいです。努めることが、いいですね。努めるのは努力の努力。

○委員

要するにこの1、2、3は要するにこの審議会市長に対しては要請でしょ。

○委員

要請ですね。

○委員

基本的に要請で、要請になってますかね。

○会長

努めること、これ結構格好いいね、

○委員

要請と要望ってさ、要請のが強いやろ。

○委員

要請のが強いですね。要請のほうが

○委員

要請のほうがいいですね。

○事務局

要望は希望、希望です。

○会長

なるほど、なるほど。

○委員

そうか、私も要望書くの要請にしようか、これから。

○委員

あまりそういうものは緩い方がもらう方ありがたいです。

○会長

わかります。とってもいいことを教えていただいてありがたいですわ。そうですね。で、なにになにことって言って名詞で丸つけることと、したいというとうしというか、それで丸を付けることとはもらう立場から見るとどっちがちょっと強烈ですか。

○委員

どうですかね、要望書は何々してくださいとか、いただきたいとかなんですけども、本当に意見書とかね。答申の場合は、何々することとか、されたいとかね、そういう形ではもらいますね。

○会長

それにしましょう。ありがとうございます。

○委員

何々したい、たいって、たいで終わってますよ。されたいと。

○会長

ありがとうございます。じゃあ若干これもちよっとたたき台としてで、今日はちょっと決めないで、皆さんの意見もいただいて、これこそちょっと勝負したい部分でありますので、亀井市長は審議会のこと尊重する方でご変なことするような市長じゃないと、そう思っているんですが、ちゃんと格式高くしかも強い意志でお互いにウインウインになれるようなケンカするんじゃなくそういうことで鑑をつけたいので、ちょっとお願いしますね。じゃあそうすると今日やらなきゃならないことのここは答申のところまで今来ました。で、全体をちょっと振り返ってみて忘れたこととかここはどういう組立しましたかっていうことで確認したいこと等ありますでしょうか。

○委員

全体でもう一回ちょっと事務局の方に見といていただきたいのが、13 ページのですね。そしてこの本文に基づく、素案に基づく、13 ページに、教育の推進のところで敢えてこれ赤に直していただいてあって目立ったんで気が、気になったんですけど、県のそういう総合プランでもこの身につけさせるっていう、こうなんていうか行政が市民に対してちょっと上からの表現というのはやっぱり避けるんですね。身につけさせるっていうのはやっぱり失礼な表現なので、例えばまあ子どもたちが発達段階に応じて社会生活の基礎を身につける、つける上でと、児童が主体になるような表現、うち、こちらがさせるのではなくて、で、ここの文章だけでそれを気づいて一応全部わーって見て他にはそういうのは思わなかったんですけども、最終やはりもう一度そういう表現がないかどうかだけちょっとご確認いただけたらなと

○事務局

最終は当然私もこれ全部わかってなければいけないところなんで、そこまでちょっと気づきませんでした。気付いて見えてない部分がありますもので、最終は当然何回か一人の目だけではなくて、複数の目で、確認させてもらいまして、整合といいますか、統一した表現ということでちょっとしていきたいと思いますのでご理解いただきたいと思います。

○委員

お願いします。

○会長

ありがとうございます。

（３）その他

○事務局

それでまあ、ごめんなさい、私ちょっと発言させていただくのはちょっと僭越なんですけど、今日いろんなこうご意見をいただきましたので、12月16日がまあ答申の最終リミットという中で、約1か月あるわけなんですけども、今日かなりいろんな意見をいただきましたもので、これを私どもでいったん整理をさせていただいて、それで、日程タイトな中ではあるんですけど、も事務局的には再度もう1回ぐらいさしてもらうことがいいのかないようなことで。

○会長

例えば日が余分があるなら、もう1回集まっていたかと私もありがたい。

○事務局

確認という形で今度は本当にこれでいいよねっていうような形で持っていければ一番いいんですけども、12月に入りますと議会等もあるわけなんですけれども、ちょっと調整も取らしてもらいながら、本当に次を持たしてもらえるかどうかはお約束まではさしてもらえませんが、持っていって、持たしてもらいながら、進めさしてもらいながら、次との調整もさしてもらいながら、進めさしてもらいながら

○委員

終わる前にちょっと2件だけ、1件目、これパブリックコメントの意見書の結果。これ意見に対する考え方、これちょっと考え方、この考え方敢えて出してないですね。

○事務局

まだです。まだです、まだそれ、ごめんなさい、今ちょっと作成途上です。答申のと追加の項目の締め切りを、答申についての追加項目、何とか、今おっしゃっていただいたところのご意見を皆さんにいただく締め切りは次の審議会かいつか決まってない中でなんですけれども、1週間みさしていただいて、そうですね。そしたら今日木曜日ですので来週木曜日までに文書なりメールなりで、もしございましたらお願いします。パブリックコメントの意見募集結果についてはまた目を通していただきたいんです。まだ、案の状態でちょっと担当者に確認中のところもありますけれども。パブリックコメントにつきましては、特に、参考にするものとかいろいろ意見の取り扱いがあるんですけれども5ページ目の上から1番目と2番目と3番目なんですけど、担当部署と協議の結果このプランの文言を3か所修正します。プランで言いますと1番上が55ページとの2番目3番目が56ページになりますけれども、ちょっとこういった修正しますという今はちょっと案の段階ですけれども、載っておりますのでこれをちょっとご確認いただきたいと思います。

○会長

それで、いいですか。このパブリックコメントに関しての扱いはまちまちなんですけれども、パブリックコメントの1件を無視しちゃったら絶対ダメなんですけど、パブリックコメントのことをすべてその取り入れるということもあります。だから明らかに誤字脱字何かのところの分はもう我々に一応出していただくんですけれども、もうどんどん事務局で変えていただいて、もう盛り込んだ方がいいとか何とかだったらあれだけど、手におえないほどの大きいな 이슈が出たとか、何かの時はちょっとこう星印でもなんでもしていただいて、この辺ちょっと考えてくださいとか、そういったような形でこれは事務局がある程度ハンドリングできるものはして大丈夫だと思うんですね。で、今、ちょっと見ている中でそんなにこうまあ大変なあれをついてってことではなく、例えば私的には葉っぱが落ちてるものは自分たちでやれよっていいくらいなんですけれども。これも行政のサービスでやるんだったら、まあサービスの一環でやればいいものであってそれをこの中にもう木の葉っぱを全部掃除しますとそういうことしなくてもいいだろうと、その位の判断はたぶん市ができるんだろうと思いますので、全く同じようにフラットで全部同じ重みを入れたらきりがないので、それはもう、もう報告だけしてください。これはこういう風にしますと、で、そういう扱いを軽くしていただきたいんですね。

○事務局

はい。ありがとうございます。